

2021～2022年度
越谷東ロータリークラブ

○ ○
委 員 会 活 動 方 針
年 間 行 事 予 定 表
年 間 プ ロ グ ラ ム 予 定 表
○ ○

会場監督(SAA)

S A A：原 美光

副SAA：平野武志 平林照雅

任 務

会場監督は、例会場の秩序と品格を保持する任務、その他通常その職に付随する任務を行う。

[方針・抱負]

会長要望に応えられます様3名でしっかり務めさせていただきます。

会 計

会 計：青木伸翁

任 務

会計は、本クラブの資金をすべて管理保管し、毎年2回及び理事会の要求があったときその説明をする任務、その他通常その職に付随する任務を行なう。会計が退任するときは、保管するすべての資金、会計帳簿、その他あらゆるクラブ財産を、その後任者若しくは会長に引き継がなければならない。

[方針・抱負]

クラブ細則にある会計の任務に基づき、本クラブのすべての資金を管理するとともに、年次総会時には上半期の間接報告をし、年度の終了後には速やかに決算報告をいたします。その為、常に帳簿等の確認等必要な業務をして参ります。

会員の皆様には会計の任務が確実にこなすよう、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

会計監査

会計監査： 秋山 坦

任 務

会計監査は、会長・会計より報告された当該年度の予算、決算執行を厳密に監査することにある。

[方針・抱負]

年度終了時の監査は無論の事、会計と連携し12月・6月の2回（クラブ協議会に合せ）レビューを実施します。

会員増強部門

委員長：中村 猛

小委員長：岡崎愛子 宮下智之 浜野隆浩

任 務

この部門は、クラブ活性・強化の為、出来る限り若く明るく、優れた人材を増強すると共に新入会員のオリエンテーションまた、現会員の退会防止を考案、実施することを任務とする。

[委員会方針・抱負]

加藤盛也会長のクラブ運営方針『みんなで躍動、更なる発展』を尊重し、みんなで明るく楽しく喜びあえるクラブ活動を推進していきます。そして小委員会（勧誘委員会・会員選考維持委員会・オリエンテーション教育委員会）と連絡を密にして情報提供を頂き会員維持と会員増強を強化していきます。具体的には、他団体との交流の中でロータリーの奉仕の精神を熱く伝えて会員増強の目標を達成していきます。皆さん一年間よろしくお願ひします。

会員増強部門
《勧誘委員会》

委員長：岡崎愛子

副委員長：出口 昇

委員：

任 務

この委員会は、絶えずアンテナを高く持ち、現会員の協力などを得ながら、会員選考維持委員会と連絡を密にとり、会員候補者を理事会に推薦するよう積極的に努めると共に有効な退会防止策を考案し、実施する。

[委員会方針・抱負]

新しい会員を増やすため積極的に人材発掘に取り組んでまいります。

30代、40代、50代、60代の若い男女を募集したいと思っております。

等会員の奥様数名入ってもらいたい。外国では夫婦でロータリークラブに入っているのが当たり前ですので当クラブの会員の皆様、どうぞご協力をお願い致します。

また会員の皆様の会社関係者でロータリークラブに入ってくれそうな方がいらっしゃいましたら情報をお願い申し上げます。

会員増強部門

《会員選考維持委員会》

委員長：宮下智之

副委員長：田中基章

委員：

任 務

この委員会は、会員候補者として推薦された者について、職業分類と会員資格を調査し、理事会に報告しなければならない。またこの委員会は、毎年度できるだけ早く地元の地域社会の職業分類調査を行い、充填、未充填の職業分類表を作成しなければならない。必要な場合は、現会員の有する職業分類を見直すことができる。

[委員会方針・抱負]

- ①未充填の分類を充足して勧誘委員会を通し理事会へ報告します。
- ②会員候補者が挙がりましたら、推薦された候補者の職業分類と会員資格調査を行い、理事会に報告します。会員の皆様には、会員候補者の推薦をお願いいたします。
- ③会員の「増強」と「維持」をテーマにしたフォーラムを勧誘委員会と協力をしてそれぞれ2回ずつ開催します。

会員増強部門

《オリエンテーション・教育委員会》

委員長：浜野隆浩

副委員長：山崎勝己

委員：五十嵐久幸

任 務

この委員会は、ロータリーの友誌などを使用して、会員に奉仕の心、奉仕の実践に関する情報を提供すると共に、すべての会員を対象とするロータリー研修会を年2回行なう。また会員候補者に対しロータリークラブの会員の特典と責務に関する情報を提供し、入会してから最初の1年間、新会員のオリエンテーションを実施する。さらに、公共イメージ委員会に対し一般向けのロータリー情報を提供する。

[委員会方針・抱負]

1. 第1例会（基本）は、「ロータリーの友」を輪番制で紹介をします。
2. すべての会員に対し、年2回（炉辺会合）のロータリー研修会の実施をします。
3. 会員増強部門として新入会員および入会3年以内の会員に対し、ロータリーの専門誌などを活用し、オリエンテーションの開催をします。

《公共イメージ委員会》

委員長：宮下智之

副委員長：南 千加江

委員：会田皓章 青木伸翁 鈴木二之将 守屋トミー

任 務

この委員会は、広く一般に本クラブの奉仕の実践とロータリーの目的、その歴史等について、適切な宣伝を行う方策を考案、実施する。またこの委員会は、クラブ週報の刊行を通じて、会員のロータリーへの関心を促し、出席率の向上と親睦の増進に寄与するため、前回の例会の重要事項を報告し、次回の例会の重要プログラムを予告する。全会員の奉仕活動に関するニュースをロータリーの友誌などに投稿するよう努める。またこの委員会はITおよびSNSを利用し地区、クラブ等の情報をすべて管理し、これを速やかに関係各会員、各委員会等へ伝達するものとする。

【委員会方針・抱負】

- ①例会および各事業で週報担当者を決め、当日の週報データ（写真・原稿等）を収集します。
会員の皆様には、週報の原稿の提出とその締め切りの厳守にご協力下さいますようお願い申し上げます。
- ②クラブのホームページを更新します。
- ③ロータリークラブの活動をインターネット・SNSなどを活用し、一般向けに情報の発信をするよう努力します。
- ④マイ・ロータリーへの全会員登録に向け努力します。

クラブ管理運営部門

委員長：大内一幸

小委員長：浅水輝子 山崎勝己 佐久間 誠 杉下 智 橋本政行

任 務

この部門は、五大奉仕部門のうちの「クラブ奉仕部門」であり、親睦のうちに、クラブ内部に関する委員会活動を行い、クラブの各種機能を充実させるとともに、会員一人ひとりが自己を高め「奉仕の心を育成する」ことに関する包括的な立案と実施を任務とする。

[委員会方針・抱負]

100年を超えるロータリー・クラブの変遷を振り返るとき、それぞれの時代の大きな「うねり」を柔軟に、そして確実に乗り越えてきた先人たちの発想と行動力に今さらながら驚きます。

社会情勢は世界的な規模で「新しい標準」を模索していることを実感する毎日ですが、我々ロータリー・クラブの例会も奉仕の理念に基づき、「今」より少しでも良い世界を構築する第一歩になるよう充実した企画をサポートします。

会長の「クラブ運営方針」を各委員会によく理解し、管理運営の5委員会がしっかり連携して、奉仕の心がさらに育まれるよう活動してまいります。

クラブ管理運営部門

《未来委員会》

委員長：浅水輝子

副委員長：栗田晴巳

委員：大沢昌太郎　大野豊次　小暮進勇　清村忠雄

任 務

この委員会は、クラブの発展のため、会員の研修方法の研究と提案をするものとし、研究、提案、検討に当たっては、広く会員の意見を聞き、その意見を反映するよう努めるものとする。

【委員会方針・抱負】

特殊な状況下におかれた今年度の抱負や方針については会長の思いをはじめ経験豊かで思慮深い皆様のお力を頼りに頑張れたらと願うばかりです。

恵まれない環境にも成しうることを優秀な方々から企画等ご提案を賜り頑張りたいと思います。微力ながら一生懸命努力して皆様の支えに少しでもご恩返しができたらと今は願う思いで胸一杯です。未熟さに行き届かぬ私ですが会長や会員の皆様にしっかり寄り添いクラブ活動の充実に努力致します。どうぞご協力をお願い申し上げます。

クラブ管理運営部門
《プログラム委員会》

委員長：山崎勝己

副委員長：阿部朋博

委員：畔上順平　大野祐肇　鈴木裕万　村木龍男

任 務

この委員会は、本クラブの例会および臨時の会合のプログラムを準備、手配する。

[委員会方針・抱負]

会長要望を理解し、例会プログラムの準備をし、会員の皆様が楽しく有意義な時間を共有できる例会企画を実施したいと思います。

今年度も予想されるコロナウイルス感染症の影響もありますが、経験豊富な副委員長、委員会メンバーがいらっしゃいますので、アドバイスをいただきながら、委員会一丸となり、活動をしていきたいと思っています。

クラブ管理運営部門
《親睦友愛委員会》

委員長：佐久間 誠

副委員長：宮本正行

委員：青柳 聡 天田 裕 石渡 毅 榎本裕希 梶原直樹
 鈴木朝夫 中村 猛

任 務

この委員会は、親睦と奉仕は車の両輪の関係にあるとの理念の下、クラブ例会を会員同士が真の友情を結ぶ最良の場とするように努めると共に、会員間の交流と友誼を増進させるための諸事業を企画し、会員にそこへの積極的参加を奨励し、実施する。

[委員会方針・抱負]

新型コロナウイルス感染拡大防止を優先的に考え、会長要望でもある入会3年未満の会員にも積極的に参加を呼びかけ、出席率向上にむけ、全会員同士が親睦を図れるイベントを工夫し、企画実施いたします。

会員皆様のご支援ご協力を頂きながら、加藤年度のクラブ運営方針である「みんなで躍動、更なる発展」を念頭に置き、委員会一同、活動をしていきますので、どうぞ宜しくお願い致します。

クラブ管理運営部門

《出席委員会》

委員長：杉下 智

副委員長：島根常二

委員：齊藤 敦 高橋 功 仁多見英一 皆川健三

任 務

この委員会は、本クラブ例会への出席率を高め、例会に出席できない場合のメイクアップを積極的に奨励する。また、原因となる諸事情を調査し、可能な限りこれを除去するよう努める。

【委員会方針・抱負】

1. 例会案内（プログラム）を、会員の皆様に極力早めにご連絡する。
2. 適宜、委員会を開催し、出席率の向上を目指し、話し合いを行う。
3. 例会に出席できない場合のメイクアップ、出席不良の原因となる諸事情を調査し、出席不良の原因となる諸事情を調査し、会員の皆様のご協力を得ながら除去に務める。
4. 出席当番のシフトを決定し、委員会全員が元気な笑顔でゲストの方、会員の皆様に迎えらるるよう邁進する。
5. ハイブリット例会、オンライン例会時における出席率低下要因を解明し、出席率の向上を図る。

クラブ管理運営部門
《会場運営委員会》

委員長：橋本政行

副委員長：小林 充

委員：飯山勝司 株竹眞次 富澤春男

任 務

この委員会は、例会、その他の会場の設営と司会進行を行う。

[委員会方針・抱負]

- ・ 例会の運営をスムーズに進められるよう準備に努めて参ります。
- ・ プログラム委員会と連携をとり楽しんで頂ける例会に努めて参ります。
- ・ 月に一度は例会の着席位置考え各会員同士が交流を持てるよう努めて参ります。
- ・ 当日の司会担当者の出欠の連絡確認するよう努めて参ります。
- ・ ドア当番表の作成・周知徹底に努めて参ります。

奉仕プロジェクト部門

委員長：小林賢弘

小委員長：小暮進勇 畔上順平 大野祐肇 浜野隆浩

任 務

この部門は、ロータリーに求められる地元の地域社会及び国際社会における職業上、人道上、教育上の各種ニーズに応える活動の企画と奉仕の実践を任務とする。

[委員会方針・抱負]

奉仕を基礎とした世界平和の実現というロータリーの究極の目的のため、そして新型コロナウイルスの影響を受け困窮している方々に希望となる活動をより多くの会員に参加していただくよう検討します。

奉仕部門4委員会の総括責任者という立場ではありますが、大先輩である小暮委員長、浜野委員長、大野委員長、畔上委員長にご指導をいただきながら、このコロナ禍の中で活動は限られてしまうかもしれませんが、できることを見つけてベストを尽くしていきますのでよろしくお願いいたします。

奉仕プロジェクト部門 《職業奉仕委員会》

委員長：小暮進勇

副委員長：杉下 智

委員：秋山 坦 浅水輝子 天田 裕 飯山勝司 榎本裕希
大野豊次 出口 昇

任 務

この委員会は、職業奉仕理念の情報を提供すると共に、本クラブ会員がその職業における諸責務を遂行し、各会員それぞれの職業における倫理水準をより一層引き上げるうえに役立つような方策を考案、実施する。

[委員会方針・抱負]

会員が各自の職業的能力をもって寄与できるプロジェクトを開発して奉仕を推進、奨励することにあるとされる目的を達成するために最も必要なことは「職業奉仕とはどんな行為か」を理論でなく具体的に知らせることだと思われま

す。職業奉仕の概念は「ロータリーの綱領」の第二項に示されています。即ちそこには、①職業の道德水準を高めること、②有用な職業はすべてその価値を認めること、③各ロータリアンの職業を社会奉仕の一つの機会として（日本語訳では、業務を通じて社会に奉仕するため、と訳されています）品位あらしめること、の三点が挙げられていて、職業奉仕とは「職業の道德性と品位を高め、その価値を認めること」が主目的であると思われま

す。職業奉仕委員会の仕事は対内的でロータリアンの修練が主ですが、もちろん外部へ向けての活動もあると思われま

- ・ 会長要望①の例会時（第1例会）に四つのテスト・ロータリーの目的の唱和を実施する。
- ・ 会長要望②の職業奉仕をテーマとした職場見学の実施する。（職業奉仕月間は1月であるが、親睦旅行時の実施も検討する）
- ・ 会長要望③を念頭に、誕生・結婚記念日のように毎月（出来れば）、第一例会（検討が必要）にて会員の事業所の創業日等を披露し創業年数を祝う。（プロジェクター等も使用する）
- ・ 例会時（第1例会）の四つのテスト・ロータリーの目的の唱和 役割分担表
7月：秋山 坦、8月：浅水輝子、9月：天田 裕、10月：飯山勝司、
11月：榎本裕希、12月：大野豊次、1月：出口 昇、2月：秋山 坦、
3月：浅水輝子、4月：天田 裕、5月：飯山勝司、6月：榎本裕希
※欠席対応：杉下 智、小暮進勇

奉仕プロジェクト部門 《社会奉仕委員会》

委員長：畔上順平

副委員長：北林隆一

委員：青柳 聡 石渡 毅 栗田晴巳 齊藤 敦 島根常二
 仁多見英一 橋本政行 原 美光 皆川健三 宮本正行

任 務

この委員会は、本クラブ会員並びに本クラブが、地域の地域社会、次世代を担う青少年に対する諸責務を遂行するうえに役立つ指導と援助を与えるような方策を考案、実施する。

[委員会方針・抱負]

本クラブの事業の柱でもある社会奉仕プログラムについて、社会情勢に合わせながら慎重に取り組む必要があると考えておりますが、例年以上の新しい取組にも挑戦していきたいと思っております。特に柱となる三つのプロジェクトについては具体的に下記の通り検討しております。

①地区補助金大口枠活用

5月の地区補助金大口枠プレゼンにて既に採択が決定しており、市内小学校の特別支援学級への具体的な支援を検討しております。今回の支援をきっかけに、今後のクラブとの継続的な関係を築くような仕組みを構築したいと考えております。

②越谷市民まつり

今年は例年の市民まつりとは違ったプログラムで行うことが決定しております。当クラブで担当していた交通安全パレードが中止となり、代替え案が模索されております。また、インターアクトクラブ（越谷東高校）と行なっている交通遺児募金活動と大道芸イベントについては市民まつり全体との調整になりますが、集客が難しい場合は、新しい形での募金活動を検討したいと思っております。

③第20回越谷市高校野球大会

第20回の記念大会をクラブ創立35周年記念事業の中のプログラムの一つと位置付け、例年以上に華やかで感動的な高校野球大会の開催を企画致します。特に開会セレモニーでの催しと県内強豪校との特別試合について検討を進めて参ります。

その他、地元地域社会への貢献に資する活動や次世代を担う青少年に対する指導支援を行なって参ります。

また、各例会でのスマイル集めを積極的に行う事を通してクラブの会員全員が社会奉仕活動に積極的に参加することを促し、奉仕の原点を感じて貰える活動に努めたいと思っております。

奉仕プロジェクト部門
《国際奉仕委員会》

委員長：大野祐肇

副委員長：株竹眞次

委員：大沢昌太郎 岡崎愛子 佐久間 誠 鈴木裕万 平野武志

任 務

この委員会は、本クラブ会員並びに本クラブが、国際奉仕に関する事項においてその諸責務を遂行するうえに役立つ指導と援助を与えるような方策を考案、実施する。また、姉妹クラブとの交流を深めるため相互の連絡、調整を行ない、これに加え新しい交流先を模索する。また、本クラブに関係した、青少年交換留学生、米山奨学生、財団奨学生等のネットワーク作りをし、世界的親交を深め、国際親善と平和に貢献する。

[委員会方針・抱負]

コロナ禍の中ではありますが、国際奉仕事業を何かしら企画しなければならないと思っております。しかしながら、海外に支援活動として現地に出向き、視察・検証を行うのは困難な状況であることと思います。出来る限りのことを会長要望通り、委員の皆様にご協力を頂き、また、35周年実行委員会と連携し、活動して参りたいと思っております。

《ロータリー財団委員会》

委員長：阿部朋博

副委員長：守屋トミー

委員：清村忠雄

任 務

この委員会は、資金的寄付と財団プログラムへの参加を通じ、ロータリー財団を支援する。
ロータリー月間に有意義な企画。

年次寄付目標

- ①クラブ会員一人あたり 200ドル
- ②ポリオ根絶 〃 50ドル
- ③ベネファクター 2名（うち1名は新たな方） 1,000ドル以上

[委員会方針・抱負]

寄付とは、**社会課題を改善するという夢を叶えるための協力。**

寄付者とは、**協力者。**

協力とは何か？

文字通り、複数の力を合わせてひとつの力にして物事にあたること。

そう定義しなおすと、アプローチ方法も変わってきます。

助けてください、支援してください、支えてください、ではなくなってきました。

もちろん、お恵みください、でもありません。

協力してください。これでいいのだと、思います。

国でも、企業でも、一個人でもなかなかできない社会課題の解決を
成し遂げるためのご協力をお願いします、と。

ロータリー財団の活動に賛同していただけたら、ご協力をお願いします。

ご協力方法は、知識の寄付と時間の寄付、そしてお金の寄付があります。

どれかひとつでも、できる範囲で構いません。

ご協力いただける方をお待ち致しております.....

《米山記念奨学委員会》

委員長：会田皓章

副委員長：高橋 功

委員：鈴木朝夫 南 千加江

任 務

この委員会は、資金的寄付を通じ、日本ロータリーの創立者米山梅吉翁の遺徳を継承するロータリー米山記念奨学会を支援する。

○米山記念奨学会の寄付金、会員一人当たり¥25,000を会員の皆様に寄付をいただけるように理解していただく。

[委員会方針・抱負]

米山記念奨学会は、日本のロータリー独自の奉仕事業であり、「将来に渡り平和日本を世界に理解してもらうためには、一人でも多くの留学生を日本に迎え入れて平和日本を肌で感じてもらうしかない。」という思いを込めて運営されています。わがクラブも寄付はもとより、奨学生を過去何人もお世話してきました。これからも奨学生諸君には日本と母国の懸け橋となって互いの国の発展と平和を築いていけるよう、またクラブメンバーも先人達が築いた米山記念奨学事業を理解していただき日本と国際社会、また明るい未来のためにご理解・ご協力をお願いいたします。

1. 会員一人当たり寄付金目標額25,000円以上
(普通寄付5,000円と特別寄付合計)
普通寄付 半期ごとに各クラブで決定した金額
特別寄付 任意でいただく寄付
個人寄付 法人寄付 クラブ寄付 下限上限はない
2. この制度をご理解いただくため、卓話を企画する。
3. 米山奨学生、張政さんの世話クラブとして交流を深めていく。

《創立35周年記念実行委員会》

委員長：栗田晴巳

副委員長：会田皓章

委員：浜野隆浩 北林隆一

任 務

この委員会は、実行委員長指導のもと四半世紀に渡り越谷市で奉仕活動ができた喜びを会員と会員の家族と姉妹クラブ、ロータリー以外の方々と祝うこと。

[委員会方針・抱負]

加藤会長要望に則り、事業を進めて行きたいと思います。

基本的には、大きな予算をかけることなく、行って行きます。

始めに、第20回越谷市高校野球大会は、記憶に残る楽しい大会を目指して行きます。開会式には、20年記念式典を行い、今までお世話になった方々へ感謝を致したいと思います。記念イベントとして、越谷叡明高校合唱部・吹奏楽部による合唱と演奏をご披露いただきます。更に、法政大学応援団リーダー部による演舞、同じくチアリーディング部による演技をご披露して頂きます。更に、優勝校と県内最強豪校の花咲徳栄高校との記念試合を企画しています。選手にとっても皆様にとっても楽しく記憶に残る大会にして行きたいと思います。

次に、35周年記念式典は、令和4年5月15日(日)越谷サンシティ小ホール・ポルティコホールにて、開催いたします。内容につきましては、各委員会様と企画を良く打ち合わせて、楽しい式典を目指して行きたいと思います。

楽しい35周年に致したいと思いますので、是非、会員皆様のご参加ご協力を宜しくお願い申し上げます。